

2019年7月2日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

- イスラエルによるシリア攻撃、イランの濃縮ウランに関する情報、スペシャルアップデート -

<https://youtu.be/xwjDj09le0o>

皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。イスラエルのガリラヤにある自宅より、ライブを行っています。ここには48時間だけいて、それから数日間、家族でキプロス島へ行ってきました。その後、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、ニュージーランドへ向かいます。長旅になりますので、どうか、お祈りいただければと思います。フランスのトゥールース、英国のパスより戻って来たばかりですが、どちらも、聖徒の皆さんと本当に素晴らしい時間を過ごしました。いまは次の長旅の前に、家族と過ごす時間です。

とても驚くべきことが、この72時間の間に起こっています。ペルシャ湾での緊迫から始まって、そして、イランが脅迫をしています。そのひとつはイランの国会議員による発言で、「もしアメリカがイランを攻撃するならば、イランは30分以内にイスラエルを破壊する」と彼は言いました。彼らがこんなことを言うのは、とても面白いですね。なぜなら、私の聖書によれば、立っているのはイスラエルの方で、イランが滅ぼされる側ですから。しかも、イランを滅ぼすのはイスラエルではありません。イスラエルの神が、エゼキエル戦争でイスラエルに攻め込んでくるペルシャを滅ぼします。ですから、イランの皆さんには、ぜひ、聖書を読むことをお勧めします。これから起こることを何か理解すれば、物事が少し違ってくると思います。

ところで、現在イランでアーヤトッラーの狂気と並行して起こっている最も素晴らしいことのひとつが、イスラムからキリスト教へ改宗する人の数が激増していることです。人々が自分の救い主としてイエスに惹きつけられ、文字通り、ものすごいスピードで地下教会の数が増えています。地下でのキリスト教の増え広がりは、中国を上回ってきているとのこと。私は、イランをイラン国内で攻撃する必要がない理由を理解しています。また、私は次のことも理解しています。イスラエルが攻撃される時には、主が、イスラエルを攻撃する軍隊を滅ぼし、イスラエルを守られます。イランの国を完全に根絶する必要はありません。しかし、確実に政権は取り除かれるでしょう。また、イスラエルを滅ぼすための彼らの軍事能力は、確実に取り除かれるでしょう。あちらでの聖霊の働きに、主をほめたたえます。イランに福音をもたらし、イランの人々に伝えている力強いクリスチャン、勇気ある人たちのことで、主をほめたたえます。

ところが、これはイラン人が言っているのですよ。彼らは、30分でイスラエルを滅ぼすことができる、と。しかし、実際に彼らが行ったのは、イランは昨日の時点で、正式に核協議に違反しました。そして、協議で定められているウラン濃縮限度を超えました。「これは国連の原子力機関で承認されている」と言ったのは、だれですか？彼らの外務大臣です。彼らは全世界に発表をしたのです。「我々は、300キログラム以上の濃縮ウランを持っている」これは、あの有名な合意で定められた限度です。2015年の核協議です。ということで、イランの外相ジャヴァード・ザリーフが発表しました。「我々は、ヨーロッパには非常に落胆している。他の全世界にも、非常に落胆している。したがって、私たちは協議に違反して、我々の核能力、核濃縮を増大させているのだ」

とても興味深いことに、国家安全保障問題担当顧問であるボルトン大使が、次のように言いました。「イランがこのようなことを行う唯一の理由は、核兵器の基準値に達するための時間を最小限に抑えるためだ」言い換えると、濃縮ウランの大量備蓄が十分にあれば、彼らは必要な時に、必要なものを非常に素早く入手できるのです。さて、皆さんの中には、「濃縮ウランだけでは、爆弾は開発できないよ」と言う方もかもしれません。まさにこのために、イスラエルの首相が、これから24~48時間以内に、イスラエルのモサド（情報機関）が、イラン国内から入手した新事実を暴露するのです。実際、多くの人々がこれに衝撃を受けるでしょう。

イスラエルのモサド（情報機関）のトップ、ヨッシー・コーヘンが、2日ほど前にヘルツリーヤ市で演説を行い、その中で、とても重要なことを言っています。彼は、次のように言いました。「昨年、私たちがイランの公文書を回収した時に私たちが発見したのは、まず第一に、核兵器の軍事計画があったということ。彼らの言い分とは異なり、それは存在しました。第二に、軍事計画に関わったすべての人物は、まだあそこにいる。彼らは、彼らを維持しています。すべての情報と経験は記録され、保存されている。すべての測量器具、およびその他の器具は、現在、隠されていて、どこかに保管されている。彼らのすべての核実験、および開発の記録は、その全部が人の目から隠されており、彼らに必要となれば、ただちに使われる。言い換えれば、皆さん、彼らは以前、計画を持っていただけではなく、彼らはそれを維持しているのです。いまもお、彼らはそれを隠しているのです。そして時が来れば、彼らは十分な濃縮ウランがあり、ただちにそれとつながる情報、技術、知識がすでに蓄積されてあって、迅速に核兵器製造に移れるのです。

また、私たちが知っているのは、イスラエルのモサドが、あの公文書の中に発見した、あることのために、私たちは、国連の原子力機関の検査員たちに、イランがすべてのものを隠している場所、彼らが製品を隠している場所、核や器具を隠している場所を伝えることができました。そして、その為に私達は、イランの爆弾を入手しようとする試みを押し戻すことができたのです。皆さん、まさにこのことをベニヤミン・ネタニヤフは、おそらく1~2日の内に世界に暴露します。イスラエルは住所を渡し、私たちは場所を提示して、正確な位置を示しました。そして、私たちは彼らが見つかるものすべてのリストを渡しました。そして検査員たちは、それらを見つけたのです。検査員たちがそれを見つけたのは、皆が現在、これらの場所を見ていることをイランは知っていたので、彼らはそれらを取り除くことができなかつたのです。そして、彼らはまるで何も持っていないかのようにふるまいましたが、もちろん彼らはすべてをそこに置いていました。そして現在、彼らの爆弾を組み立てる能力を、少なくとも1年は遅らせました。ということで、その面では良いニュースでした。

次は、反対に、彼らが飽きることなくシリア国内で行っていることです。イスラエルは2日前、異例の攻撃を行いました。今回は空爆と、レバノン沖の海軍艦艇から発射されたロケット弾との組み合わせでした。シリア上空を飛行するF-16（戦闘機）と、レバノン沖にイスラエルが配置している海軍艦艇の両方がロケット弾を発射して、また、ロケット弾はレバノン沿岸からも、シリアへと発射されました。そして、数分の内に異なる12の標的を破壊しました。標的は、基本的にはイランが武器を供給し、はるばるヒズボラへ移送して、レバノンに持ち込む連鎖の全体です。皆さん、私たちは空軍基地を破壊しました。シャイラト空軍基地です。私達は研究センターを破壊して、ロケット弾でいっぱいになった格納庫を破壊しました。また、私達は場所から場所へと物品を運んでいた車を破壊しました。それから、武器がシリアに到着した瞬間から、それらが保存される場所、それらが加工される場所、はるかレバノンまで、それらが集結される場所など、すべての連鎖を破壊しました。この2日の間にイスラエルが破壊した標的のほとんどが、レバノン国境から約20マイル（約32.2km）離れたところにありました。皆さん、これはダマスカス郊外のホムス市で、標的は完全に破壊されました。すくなくとも16人の死者が出たことが分かっており、そのうちの何人かはイラン人です。

ここからが非常に興味深い点で、皆さん、どうかよく聞いてください。シリアの上空で活動するために、イスラエルは攻撃する前に、ロシアに警報をするようにしています。これは、私達がしなければならないことです。ロシアが、現在そこにいますから、ロシアが私達の飛行機を撃墜することは避けたいのです。そこで私達は、イスラエルが攻撃する2, 3分前に、シリアのフメイミムにあるロシア空軍基地に電話をかけて、「これから3分後に、いくつかの標的を攻撃する」と、彼らに伝えます。それがいま、ロシアは何をしていると思いますか？ロシアは、すぐさま電話をかけて、イランに伝えています。「3分以内に移動しなければ、あなたがたはやられてしまう」そして、あちらにいるイラン人の職員のほとんどは、なんとか逃げ出していて、逃げることでできなかった人たちは死にました。しかし、もちろん破壊されたのはロケット弾やすべての格納庫、すべての技術です。ですから、確かにイラン人の技術者や、あちらのイランの民兵たちを全員は殺害していませんが、しかし私達は、彼らが励んでいたものを確実に破壊しました。だから、彼らはまた最初からやり直さなければなりません。ただ、考えてみてください。ロシアは自分たちの身内の世話をする代

わりに、イランに警報を与えているのです。イスラエルは、それでも構わないと私は思います。私達のゴールは、人を殺すことではありませんから。私達のゴールは、彼らが製造して、組み立てている武器を破壊することです。ですから、彼らの多くが逃げ出しても、私達は構いません。しかし私達が気にかけているのは、実際のロケット弾が完全になくなり、彼らの開発センターが完全になくなることです。それが大事なのです。しかし、考えてみてください。3分です。逃げられる人は、みんな逃げなさい。それが、ロシアが行っていることです。これは、なかなか驚きです。

また、皆さんにお知らせしたいのは、2, 3日前に、2017年以来初めて、アメリカ合衆国がシリアで攻撃を行いました。実は、米中央軍からの声明が、3日前の6月30日に発表されています。「米軍は、シリア国内のアルカイダを攻撃した。シリアのアレッポ地方近郊の訓練施設の指導者たちを、6月30日に攻撃」これは、2017年以来、初めてのことで、アメリカ空軍の戦闘機がシリア北部を攻撃しています。初めの憶測では、ISISのことかと思われましたが、そうではなくて、シリア国内のアルカイダAQSのことで、彼らは、何らかの指導者と訓練施設をアレッポの近くに持っていました。その情報が入った時に、アメリカ中央軍は「もう十分だ。破壊しよう」と決断して、その通りのことが起こりました。

とても興味深いことが起こりました。シリアが2日前、イスラエルの攻撃を回避しようとした時に、ロシア製のシリアのロケット弾の一発が、キプロス北部に飛んでいき、命中しました。キプロスは地中海の島で、イスラエルから真逆にあります。私達は明後日、家族でそこに行くのですが、ただ、キプロス北部のトルコが支配している地域で、まず初めに彼らは爆発音を聞き、それから、彼らはSA-5の残骸を発見しました。これはロシア製のS-200ロケット（長距離地对空ミサイル）で、1970年代に、彼らが開発を始めたものです。これは古く、そのためにロシアはシリア国内にS-300（長距離地对空ミサイルシステム）が必要なのです。では、このS-300について話しましょう。ロシアは、いくつかのS-300の砲台（移動式発射機）をシリアに持ち込みましたが、これらは、彼らが人員配置しているものです。彼らはシリア人を配備すると、その瞬間からシリア人たちは、あちらこちらにロケットを発射して、多くの損害が出ることを知っています。そしてロシアがまた恐れているのは、仮にS-300にシリア人だけを配置すると、イスラエルが自由にそれらを破壊して、それがロシアの名声に大きなダメージを与えることです。なぜなら、仮にS-300が簡単に破壊されれば、彼らはそれを“無敵の武器システム”として売ることができませんから。だから、ロシアはシリア人にそれを使わせたくないのです。彼らはその結果を恐れ、イスラエルの攻撃が、そのようにロシアの商売にダメージを与えることを恐れているのです。

それから皆さんにお伝えしたいのは、イスラエルの攻撃は非常に包括的、また独特なものでした。それはタイミングだけではなく、異なる12の標的に対して、実に大胆に海上や空中から繰り広げられて、そのことでシリアは、見事にショック状態に陥っています。2時間前に、シリアの外務大臣が言いました。「イスラエルは、落ち着いている場合ではない。イスラエルは、シリアからの激しい報復に備えるべきだ」ところで彼らは、ずっと同じことを言っています。私達が攻撃するたびに、ほぼ毎回のようには彼らは言います。「次は、我々も報復する！」しかし、もちろん彼らは報復しません。ただ、皆さんに言っておきますと、イスラエルの北部司令部は、テルアビブからレバノン国境まで、すべてを最高度の警戒態勢にしています。イスラエルが、北部を最高度の警戒態勢にしているのは、ヒズボラは、彼らの基盤のほとんどが破壊された攻撃に対して、何も報復しないではいられないだろうということを、私達は理解していますから。彼らは、レバノンとイスラエルの間の戦争に備えて、そこからすべての武器をレバノンからヒズボラへ供給していたのです。

さらに皆さんにお伝えしたいのは、シリアの反応などいろいろとありますが、イスラエルのモサド（情報機関）のトップが、2日前に言いました。「中東の包括的な平和への貴重な機会があることを察している」彼が言ったことの意味を説明します。私達が平和について語るとき、私達はパレスチナの話は語りません。皆さん、よく理解しておいてください。パレスチナ問題は、イスラエルだけではなく、中東のアラブ界全体にとって、問題ではありません。長年、彼らはあのモンスターを煽ってきましたが、しかし、あのモンスターが現在、イスラエルとの平和を阻んでいるのです。なぜなら、現在はイランが最大の問題で、だれもがイスラエルを味方につける必要があるのです。唯一、イランとイランの標的を攻撃している国は、イスラエルで

あることを、だれもが知っています。トランプ大統領の気が変わって、イランに対して何も行わないことを、だれもが恐れているのです。実際に、イランに対する攻撃を彼らが期待できるのは、唯一、イスラエルだけです。ですから、現在、湾岸諸国、アブダビ、全首長国連邦、オマーン、サウジアラビア、当然、これらの国はすべて、イスラエルを必要としています。問題は、パレスチナが彼らに言っているのです。「イスラエルの側につくな。イスラエルは、我々にパレスチナ国家を与えないのだから」ですから、イスラエルのモサドのトップがこのように言っている時、すなわち「イスラエルは、中東で包括的な平和を得るための貴重なチャンスがある」と言っている時に、モサドのトップはパレスチナとの平和について語っているわけではありません。彼は、サウジアラビア、オマーン、湾岸諸国など、こういった国々との平和について語っているのです。パレスチナは、イスラエルはまず自分たちと協議を結ばなければ、これらの国との平和の実を享受することは決してできないと考えていました。ところが、です。「敵の敵は、友である」そのためにイスラエルは、サウジアラビアの友となったのです。なぜかと言えば、イスラエルはイランの敵であり、いま、イランの計画に対して、効果的、かつ積極的に動く信頼できる国は、唯一、イスラエルであることにサウジアラビアは気づいたのです。ですから、いまここで私たちは、驚くべきチャンスを見ているのです。もはやパレスチナの要求を気にせず、機会をつかんで、イスラエルと穏健スンニ派イスラム界が一緒になって協力して、イランとイランの脅威に対抗することです。私は、これは本当に驚くべきことだと思います。なぜかと言えば、私が聖書を読めば、毎回、私がエゼキエルで、今度起こる戦争について告げている章を読めば、毎回、このスンニ派アラブ諸国も、湾岸諸国も、サウジアラビアも、ヨルダンもエジプトも、彼らのだれひとりとして、イスラエルを攻撃するものとしてここに（エゼキエル38章）書かれていないことに、私は驚愕します。むしろ彼らの全員がイスラエルの側につき、イスラエルに対する攻撃を批判するのです。唯一、イスラエルに攻めてくるスンニ派の主だった国は、トルコです。もちろん、テロリストの拠点である二つ、リビアとスーダンが、南のアフリカ大陸から援護にやって来るでしょうが、しかし皆さんは、シェバとデダンが、実際にペルシャとロシア、ゴメル、トガルマを批判しているのを目にしているのです。彼らは、その戦争を批判しています。

シェバやデダンやタルシシュの商人たち、およびそのすべての若い獅子たちは、あなたに聞こう。『あなたは物を分捕るために来たのか。獲物をかすめ奪うために集団を集め、銀や金を運び去り、家畜と財産を取り、大いに略奪をしようとするのか』と。（エゼキエル38章13節）

ですから、私は驚愕するのです。今日の世界情勢が、エゼキエルがすでに2700年前に書いていた将来的な戦争の、チョットした予告編になっていますから。これは、かなり驚きです。

さて、勘違いしてはいけません。イスラエルのモサドのトップが包括的な平和について語る時、これは、聖書が示唆している、反キリストがもたらすものではありません。ダニエルが語った7年間の、そして、3年半後に破られるものではありません。これは、現在私達が語っている平和ではありません。反キリストによってもたらされる平和は…、ところで、私は反キリストは現在のフランスやドイツといった地域から出と思っています。それは異なる平和です。それは、イランが原因となる戦略的な平和ではありません。そのときまでにイランは消えます。その平和は、反キリストの利益につながるものです。ある日、彼がエルサレムの神殿に入り、自分が神であると宣言するための平和で、この二つは異なります。分かりますね。私達が考え、モサドのトップが語っている平和は、もっと、イスラエルとこれらの国々との関係におけるものであって、7年間の契約で、3年半後に破られるようなものではありません。「さあ、サウジアラビアと7年の協定を結ぼう」とか、「よし、オマーンやアブダビと、7年の協定を結ぼう」というようなものは、ありません。私達が語っているのは、全く異なることです。過激派イスラムを滅ぼす戦争が、まず初めに起こるまで、反キリストは登場しません。私は、その戦争がエゼキエル戦争だと信じています。そして、私達聖書を信じる者は、これら起こっていることすべてを見る時に、反キリストが登場する前に起こるべき2つのことを、覚えておかなければなりません。2つです。1つは、教会の中の大きな背教です。私達は、もうすでにこれを目にしています。2つめに不法の秘密は、すでに働いている。世界中で、光を闇として、闇を光とし、そして善を悪と呼び、悪を善と呼ぶ。すべてです。彼らは、すべてを変えています。家族が家族ではなく、結婚が結婚でなく、性別が性別ではないなど、現在、すべてが疑われています。神の法則が敵視されています。そ

して、聖書が語っている通り、不法が現在、人間の法律になってきています。非常に興味深いです。聖書が不法の秘密について語る中、彼らにとっては、それが法律です。「LGBT（セクシャルマイノリティ）」に反対して、何かを発言すれば、刑務所に入れられることもあるのです。それが法律になりましたから。同性愛の結婚や、家族や性別の平等など、そういったことについて何か反対意見を言えば、刑務所に入れられることもあり得るのです。それが法律になっています。しかし、神の目には、それは不法です。なぜなら、もちろんそれは神の法に反しますから。ですから皆さん、理解しなければなりません。まず、至る所で不法がはびこります。そして、もちろん教会の中で、大きな背教が起こります。背教＝道からそれる。それから、引き止めるものが取り去られなければなりません。これは、神の裁きが下されるのを引き止めている私たちであると、私は信じています。そして、その時に反キリストが登場します。それによって、もちろん、いったん私達が去り、いったん反キリストが来ると、神が世を裁けるようになります。黙示録に書かれている21の出来事によって。

ところで、私をフォローしている方はご存じでしょうが、私は、黙示録全部を短く包括的に教えるバイブルスタディを計画しています。1度で、この書全体を見ていきます。教会の説教台でたびたび無視されて、とても多くの人に誤解されている書です。寓話的に、または比喩的に捉え、そのために人々は、この書のすばらしさ、これは神の愛、私達にある希望、そして、大いなる警告の表示であることを理解しません。黙示録は想像の書ではなく、将来の描写です。「おそらく、このようになるだろう」というものではなく、「物事が、どのように起こるのか」を告げたもので、神がヨハネにこれを見せ、私達に伝えるようにしたのです。そして、この預言の書を学ぶ者は大きな祝福を受ける、と彼は言いました。唯一、この書だけが、その第1章の3節で、こう告げています。

この預言のことはを朗読する者と、それを聞いて、そこに書かれていることを心に留める人々は幸いである。…（黙示録1章3節）

ここで私達が目にしているのは、本当に驚くべきことです。これらすべてのことと並行して、私たちは移民の波に新しい動きを見ています。現在、リビア、トルコの一部で大混乱が起こるのを目にしている、2018年以降のイタリアの新しい政府は、ジョージ・ソロスが資金提供しているあらゆる人権団体が、すべての国境を完全に破棄し、世界政府を生み出して、ヨーロッパから国境を完全に取り除こうとするのを容認していません。私達に分かっているのは、昨日、ドイツ人の女性船長と、ドイツ人の船員を乗せた船が、彼らをイタリアに向かうことを阻止していたイタリアの海上警備隊の船にぶつかりました。イタリアは「もう、たくさんだ」と言っています。皆さん、理解しなければなりません。アフリカ人に「ヨーロッパに向かえ」と言い、彼らに「お金が与えられる」と言っている人物が、彼らを地中海で救出している者たちにお金を支払い、彼らをヨーロッパに集結させている者たちに、お金を払っているのです。すべては“開かれた社会”によって、潤滑にたっぴりと資金提供された“マネー・マシーン”で、これはソロスが始め、世界中に何十億と資金提供している巨大組織です。彼は、ヨーロッパの国境を廃止するという、その意図を決して隠しません。彼は、その目的を決して隠しません。彼は現在、アメリカ大統領選の民主党候補者に資金提供までして、そして、彼らに言っています。「アメリカの裕福層全員に、あと10%の税金を上乗せできる。私は、その10%を支払おう。さあ、アメリカを弱くして、そして国境を開こう。そして、国籍や国境、人種や宗教に関係なく、ほんの数人で大衆を治めるシステムを作ろう」これはサタン的であり、これが世界の向かっているところであり、これが世界の動きです。

ヨーロッパは現在、崩壊寸前です。私はフランスに行ってきたばかりですが、フランス人の信者たちは、彼らが現在直面している、あちらでの危機を、しっかりと認識しています。私が、あちらのリーダーシップ危機について話をした時に、彼らのだれひとりとして、それに反論する人はいませんでした。事実、全員が同意しました。もうひとつ、彼らの全員が同意したのは、すべての危機がチャンスであり、この危機を通してフランス人たちが指導者を求めている、ということです。マクロンは、反キリストのただの前兆に過ぎないと、私は思っています。反キリストは、世界のあの部分から登場すると、私は信じています。すべての危機が、また、機会です。また、私が信じているのは、もし100%の人が、違う指導者を求めているとすれば、

おそらく10%の人が、その過程でイエスを見だし、おそらく90%は、見いださないでしょう。しかし、これはチャンスです。確かにこれは危機ですが、機会があります。そして、私たちはそれが起こるのを見ています。キリストのからだは小さいですが、私が目にし、地元の牧師たちから聞いたのは、これまで見たことがないほど、人々が心を開いている様子です。人々はもはや、イエスに関して軽くあしらうことをせず、むしろ、初めて、聞きたがっているのです。ヨーロッパが直面している危機は、多くの人に疑問を抱かせ、疑問を問いかけ、他の選択肢にも耳を傾けるようにしています。これは素晴らしいことです。私はいつも、大きなリバイバルが携挙の前に起こるように祈っています。携挙の後に大リバイバルが起こる目的が、私にはよく分かりません。その前に、リバイバルが必要です。携挙の後、世の中は完全に不法がはびこると私は信じています。そして、第2テサロニケが告げている通り、

彼らは救われるために真理への愛を受け入れなかったからです。それゆえ神は、彼らが偽りを信じるように、惑わす力を送り込まれます。（第2テサロニケ2章10節から11節）

ですから、言い換えれば、神はもう一度、もう一度と、彼らの目を引こうとされますが、最終的には、それも終わります。ですから、私は携挙の後に信者になろうなんて、そこに期待はしません。携挙の後、人々は激しく盲目になって、欺かれます。だから私は、いまこのとき、この時間だと言っているのです。いま、救われることが非常に大切です。「大患難の最中、人は救われるのか？」とか、「千年王国の時代に救われる人はいるのか？」と、いつも聞かれますが、たぶんいるでしょう。もちろん、大患難時代の聖徒がいることを、私達は知っています。しかし、これら大患難時代の聖徒たちが、どのようにして天国へ行くか読みましたか？斬首され、完全に血まみれになって、行くのです。あなたは、こんなふう天国に行きたいのですか？こんなふうイエスの信者になりたいですか？今がその時です。今日が救いの日です。だから、いま、声を上げることが、とても大事なのです。そのときでは、彼らは手遅れになるかも知れないのです。「千年王国の時は、どうなんだ？人は救われないのか？」と、人は言いますが、ひとつ私に分かっているのは、千年王国の終わりに、大リバイバルが起こるとは聞いていません。むしろ、私が聞いているのは、イエスに対する大きな反逆です。世界の四隅から、海の砂の数ほどの人々が、信者に敵対します。彼らがサタンに加わるためにです。彼らに加担するのはサタンです。ですから、私は千年王国にも期待しません。しかし、現在あなたが信じていないなら、そもそも、あなたが千年王国にたどり着く確率は、ほとんどないでしょう。ともかく、ポイントは非常に明確です。私達が祈るべき大リバイバルは、今です。私達は、私達の役目を果たし、リバイバルが起こらなければなりません。神は、神の役目を果たされます。だから私達は、伝えなければなりません。私達は、口を開かなければなりません。

私は、トゥールースで、フランス人の信者たちに言ったのです。「あなたは、誰かを信者にするにはできない。しかし、あなたはだれかに伝えなければならぬ。そうすれば、あとは神がしてくださる」パウロが言いました。「だれかが種を蒔き、だれかが水をやる。しかし成長させたのは神です」種を蒔く者でも、水をやる者でもなく、成長は神から来るものです。私達は、こういった事を忘れてはなりません。以上です。

お伝えしたかったのは、ヨーロッパで現在起こっていること、ヨーロッパに大量の人が流れ込むかわらで、現在、素晴らしいことが起こっています。人々が福音に対して、よりオープンです。もちろん私達は、彼らの心が開かれて、彼らの心の目が開かれるように祈ります。そのために私は、このさき数ヶ月後、もし、主の来られるのが遅くなるなら、このさき数年間に、ヨーロッパを訪れることをとても重要視しています。これは超重要だと、私は信じていますから。

このあと、私はインドネシアに向かいます。世界最大のイスラム国家です。奇蹟的に主が扉を開いてくださり、インドネシア政府が、私が行って講演するためのビザを交付してくれました。二つの大きな教会で、ひとつはジャワにある第2都市のスラバヤ、そしてもうひとつは、バリのデンパサールです。皆さん、どうかお祈りください。何千人もの参加が予測されていて、私の出身地と講演内容を考慮して、教会と地元の警察によって、厳重な警備がなされます。ですので、どうか皆さんもお祈りください。神の守りと安全はもちろんですが、それ以上に、多くの人々がイエスに立ち返り、人生を主に捧げるように。周辺の人たちが耳を傾け

るように。警備員たちも、彼らはただ警備が目的でそこに来るのでしょうか、彼らが神のみことばを聞くように。御言葉がむなしく帰ることはなく、主の望むことを成し遂げ（イザヤ55章11節）彼らの人生で、大いなる事がなされるように。そこから私は、オーストラリアのパースでの、Awaiting His Returnカンファレンスに向かって、パース コンベンションセンターからBarry Stagner牧師と一緒に中東時事アップデートを行います。今のところ、千人近くの登録があります。会場はずっと大きくて、参加者がもっと増えれば、さらに大きな会場に移ると言われています。ですから、もしあなたがギリギリに行動するタイプなら、ぜひ今、オーストラリア、パースのAwaiting His Returnカンファレンスに、ご登録ください。それから一週間後は、オーストラリアのメルボルンで行い、そのまた一週間後は、ニュージーランド、オークランドのVictory Centerです。どの会場も、すでに千人の登録がありましたが、まだ数百席が残っています。ですから、ギリギリまで待っている人は、今インターネットよりご登録ください。BeholdIsrael.orgです。フェローシップと賛美、それとももちろんみことばを学ぶ、素晴らしい時間になるでしょう。

また、皆さん、私達のところに質問をお寄せください。数日の内に、私はシンガポールからQ&Aセッションを行います。ですので、ウェブサイトから質問をお送りください。私達でそれをまとめて、1時間のQ&Aセッションの中で、できる限り多くの質問にお答えします。皆さん、7月は本当にたくさんの方が目白押しで、私は7月を多くのイベントがある「妊娠の月」と呼んでいます。8月上旬も、ニュージーランドのオークランドです。ですから、私にはこれまで以上に皆さんのお祈りとご支援が必要です。旅の間の安全はもちろん、睡眠、健康、明確さ、油注ぎ、あらゆる面で皆さんのお祈りが必要です。また同時に、私の家族のためにもお祈りください。彼らはイスラエルにいて、それからアメリカで私と合流します。また、私のチームのためにもお祈りください。世界中に、私のメッセージを翻訳している人たちがいて、世界の10カ国語に訳されています。また、ウェブサイト担当、ソーシャルメディア担当、ツアー担当など、たくさんの方が陰で働いてくれています。ところで、2020年のツアー日程を数日の内に発表します。オンラインでの登録受け付けとなり、座席に限りがありますので、できるだけ早くお申し込みください。本当に多くのことで、皆さんのお祈りが必要です。皆さんには、私達と共に立ってください、本当に感謝しています。このミニストリーは、神の恵みにより成長中で、何一つとして、私達の行いによるものではありません。すべては、神の力です。そして、私達はこれからも神の恵みによって神の仕事を、可能な限り最高のかたちで行ってゆきたいと思っています。皆さん、以上です。

ご視聴くださり、ありがとうございます。私達のためにお祈りくださり、また、このミニストリーをご支援くださり、私達と共に立ってください、感謝します。では、最後にアロンの祝福をもって終わりたいと思います。

**主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。
(民数記6章24節から26節/ヘブル語)**

**主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。
(民数記6章24節から26節/英語)**

シャローム、あらゆる理解をはるかに超える平安、唯一平和の主、平和の君だけが与えることのできる平安を、この混沌とした世にあって、今も、とこしえに、ここにおいても、どこでも、あなたに与えられますように。イエシュアの御名によってお祈りします。

アーメン。

皆さん、ありがとうございます。こんなふうに皆さんとつながれることは、いつも祝福です。

お祈りに感謝します。継続してご支援くださり、感謝します。皆さんのとりなしに感謝します。

皆さんのコメント、Eメールはすべて読んでいます。心から感謝します。

ありがとうございます。

God bless you!

イスラエルのガリラヤよりシャローム。

さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2019.07.05 (Fri)